

L'ORÉAL

仏ロレアル・ジェンダー平等のリーダーに選定

世界最大の化粧品メーカーである仏・ロレアル（本社：パリ）は、現地時間2月1日、「ブルームバーグ 2021 男女平等指数（GEI）」に4年連続で選定されたことを発表しました。2021年度のGEIは、44の国と地域から380企業を選定したもので、女性のリーダーシップや人材のパイプライン、ジェンダー間の賃金平等、インクルーシブな文化、セクシャルハラスメントに関する規定などが評価基準となりました。

人事担当エグゼクティブ・ヴァイスプレジデントのジャン-クロード・ル・グランは、次のように述べました。「全ての役職と部門において全てのジェンダーをエンパワーメントするという、当社の長年にわたるダイバーシティ&インクルージョンへのコミットメントが評価され、（GEIに）選定されました。ジェンダー平等は健全な職場の実現を促し、創造と革新の原動力となり、業績と成長の起爆剤となる戦略的手段であると、我々は確信しています。」

2019年、ロレアルでは、管理職の54%、理事会の54%、またエグゼクティブ・コミッティーの30%を女性が占めています。

ロレアルは、ジェンダー平等を推進する国際的NPO **European Women on Boards** から、**ストックス欧州 600 指数**の中でジェンダー平等の分野で上位15企業と選定されたほか、企業の雇用状況を評価する仏・Humpact社が展開する **Humpact Emploi France 2020**では、ジェンダー平等の分野においてトップ企業としても認定されました。また昨年、オランダを拠点とするデータ会社 **Equileap** のジェンダー平等指数では、3,500以上の上場企業の中で、トップ5に選定されています。

ロレアルは、ジェンダー分野における評価を実施する独立機関 **EDGE** (ECONOMIC DIVIDENDS FOR GENDER EQUALITY)、**GEEIS** (GENDER EQUALITY EUROPEAN AND INTERNATIONAL STANDARD) と協働し、多くの支社の社員や採用基準に対して非常に厳格な監査を実施しています。

ロレアルグループのダイバーシティ&インクルージョンに対する詳細は [こちら](#) からご覧いただけます。

ロレアルグループについて (<https://www.loreal.com/>)

仏・ロレアルは、100年以上にわたって美に捧げてきました。36の多様で国際的で独自のブランドポートフォリオを有し、2019年でのグループの売上高は298.7億ユーロ、社員数は88,000人です。世界有数の化粧品会社であるロレアルは、マス市場から百貨店、調剤薬局、ドラッグストア、美容院、トラベルリテールや旗艦店、Eコマースなど、あらゆる流通チャネルで展開しています。4,100名の研究員を有し、研究開発をグループ戦略の基幹に置き、世界中の人々の美への熱望を叶えるために日々活動しています。野心的で持続的発展を目的としたロレアルグループの2030年に向けたサステナビリティの取り組みは、よりインクルーシブでサステナブルな社会実現のためのエコシステムの実現を目指しています。

日本ロレアルについて (<http://www.nihon-loreal.jp/>)

ロレアルは1963年から日本で事業を開始し、1996年に日本法人である日本ロレアル株式会社が設立されました。2020年末時点での社員数は、2,491人、2021年2月現在の取り扱いブランドは17です。化粧品の輸入、製造、販売、マーケティングを行っています。日本ロレアルでは、2020年に刷新したサステナビリティプログラム「ロレアル・フォー・ザ・フューチャー」の中で、女性のエンパワーメント推進を掲げ、既に女性比率は管理職全体で53%以上を実現する中、上級管理職の女性比率50%以上を目指し、2025年末までには、エグゼクティブコミッティー（役員クラス）で38%から50%達成を目指しています。詳細は2020年6月26日付け [プレスリリース](#) をご参照ください。